



38 (行徳家蔵) 尚家邸跡(中城) 尚家邸跡(中城) 尚家邸跡(中城)



(上) 沖縄の尚家邸となった中城御殿 (下) 尚家資料の贈呈式(1995年) ※両資料ともに那覇市歴史博物館提供

尚家 継承資料

国宝に指定された

2024.

2.17 土

入場無料

14:00~16:00
(開場 13:30)

※ 会場内は、空調の影響で寒くなる場合がございます。

講師 外間 政明 氏 (那覇市文化財課担当副参事)

会場 沖縄県立博物館・美術館
3F 講堂

受付 当日先着 (定員 200 名)

お問合せ 098-941-8200

〒900-0006

沖縄県那覇市おもろまち 3-1-1



【講師】 外間 政明 (ほかま・まさあき)

那覇市出身、1967年生まれ。那覇市文化財課担当副参事。崇元寺や識名園など、那覇市内の文化財の保護・整備につとめる。長年、那覇市歴史博物館で国宝「琉球国王尚家関係資料」を管理。当館の実施する琉球王国文化遺産集積・再興事業では、金工分野監修委員として玉御冠や千代金丸など、尚家ゆかりの金工品の復元に携わる。著書に『古地図で楽しむ首里・那覇』(共同編集、風媒社)などがある。

琉球国王家である尚家第22代当主尚裕氏より、同家に伝えられた琉球王国時代の古文書や美術工芸品が、1995年、1996年に那覇市に寄贈され、尚家資料の調査等が行われました。その後、2016年には「琉球国王尚家関係資料」の名称で県内初の国宝に指定されました。

国宝に指定された尚家資料は、かつて沖縄から海を渡り、東京の地で保管されていたものです。どのようないきさつで東京に運ばれ、どのように保管されたのか、国宝指定にまつわる資料の変遷と経緯について紹介します。

※席数に限りがありますので、ご入場いただけない場合がございます。予めご了承ください。

あなたの沖縄に出会う